



令和2年7月30日

岡山大学病院に食道の病気を総合的に診断・治療する 「食道疾患センター」を開設

食道には、逆流性食道炎を生じる食道裂孔ヘルニアなどの良性疾患から食道がんなどの悪性疾患まで、さまざまな病気が発症します。その特徴は、比較的高齢で糖尿病や心疾患など他の病気を合併した患者さんが多く、高齢化社会を迎えたわが国では今後さらに増えていくことが予想されます。また、食道は頸から胸、腹とつながり、体の前面から深い位置を通っているという解剖学的な理由から、手術が大きくなったり難しくなったりする場合があります。

岡山大学病院では、食道がんに対して全国有数の年間120例以上の体に優しい手術（内視鏡手術、ロボット手術）を行っており、早期食道がんには内視鏡での切除、進行食道がんには抗がん剤と放射線での治療なども行っています。また、先進的な試みとして、食道がんに対するウイルス治療法も開発しています。さらに、良性疾患の食道裂孔ヘルニアに対する内視鏡手術や食道が細くなる食道アカラシアに対する特殊な内視鏡的筋層切開術（POEM）も積極的に試みています。

これらの診療は、消化器内科、消化管外科、放射線科を中心として、多くの診療科・部門の支援によるチーム医療で成り立っています。この度、その実績や体制を患者さんや紹介いただく先生方によりよく理解いただくために、2020年8月1日、岡山大学病院に「食道疾患センター」を開設いたします。中国四国地方の食道疾患の治療成績向上への貢献が期待されます。

【食道疾患診療の実績】

岡山大学病院において、食道がん手術件数は2010年以降年々増加しており、昨年は120例を超え、日本におけるハイボリュームセンターの一つとしての確固たる地位を確立しております（別紙図1）。外科治療としては、低侵襲治療としての胸腔鏡・腹腔鏡を用いた内視鏡手術やロボット支援手術から標準的な開胸手術まで、幅広く各々の患者さんに合った治療戦略を選択しています。

また、手術以外にも内視鏡的治療や抗がん剤治療、放射線治療など、ガイドラインに基づいた標準治療を安全かつ的確に実施してきております。食道表在がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の件数も増加してきており（別紙図2）、さらに新たな治療薬の治験など先進的な診療も多数実施されています。岡山大学で開発された抗がんウイルス製剤「テロメライシン」の治験などは、岡山大学病院でなければ提供できない食道がん治療となっています。

食道良性疾患としては、逆流性食道炎を伴う食道裂孔ヘルニアや食道アカラシア（食道下端が細くなる疾患）などがあります。食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術（POEM）は、消化器内科にて2016年1月から中国四国地方で初めて開始されており、県内はもとより広く中国四国地方から紹介を受け、現在まで92件の実績があります。逆流性食道炎に対する胸腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術も増加しております（別紙図3）。



PRESS RELEASE

【食道疾患センター開設の目的】

- ① 患者さんに内科・外科・放射線科を中心として多くの診療科・部門が一体となった診療を行っていることを理解いただき、安心して診療を受けていただく。
- ② 食道疾患として幅広く標榜することで、紹介医の先生方に紹介しやすい窓口として認識していただく。
- ③ 食道がんは治療開発が盛んな分野であり、多くの症例集積が見込まれるセンターに、企業あるいはSMO（試験実施機構管理機関）から治験の依頼をいただく。

【食道疾患センターの体制】

食道疾患センターは診療科連携部門であり、消化器内科（診療科長：岡田裕之）、消化管外科（診療科長：藤原俊義）、放射線科（診療科長：金澤右）を主要診療科とします。

また、協力診療科として、形成外科、麻酔科蘇生科、緩和支援医療科、総合リハビリテーション部、臨床栄養部、腫瘍センター、周術期管理センター（PERIO）、低侵襲治療センター、総合患者支援センター、NST（栄養サポートチーム）と連携します（別紙図4）。

センター長（就任予定）：藤原 俊義（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学・教授
／岡山大学病院消化管外科・診療科長）
副センター長（就任予定）：神崎 洋光（岡山大学病院消化器内科・助教）
野間 和広（岡山大学病院消化管外科・助教）
勝井 邦彰（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科陽子線治療学講座・准教授）

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（医）消化器外科学
教授 藤原 俊義
（電話番号）086-235-7257
（FAX番号）086-221-8775
（メール） surgery1@okayama-u.ac.jp



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



(別紙 1)

図 1

食道がん手術の年間症例数

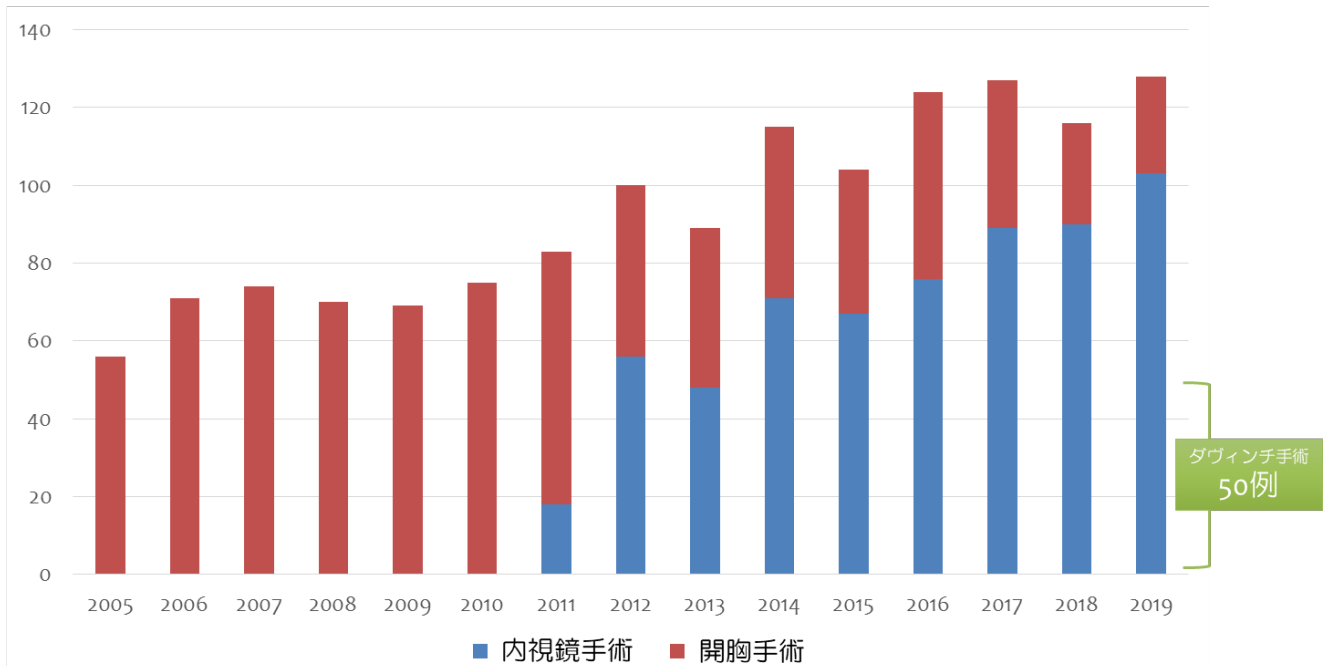
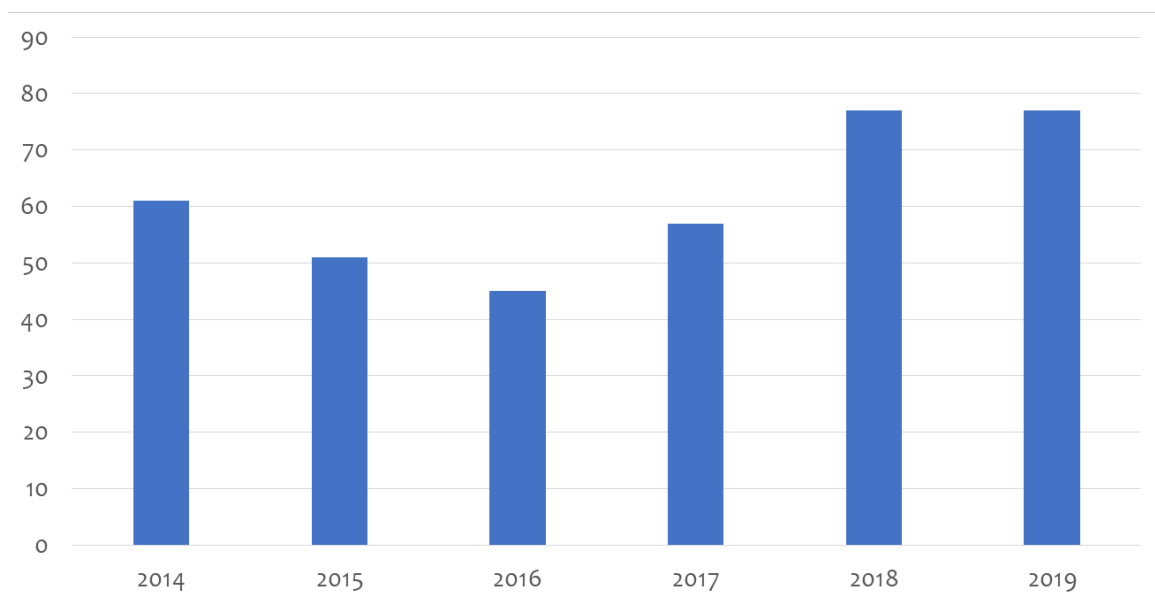


図 2

食道がんに対する内視鏡的切除（ESD）の年間症例数





(別紙 2)

図 3

食道裂孔ヘルニア手術の年間症例数

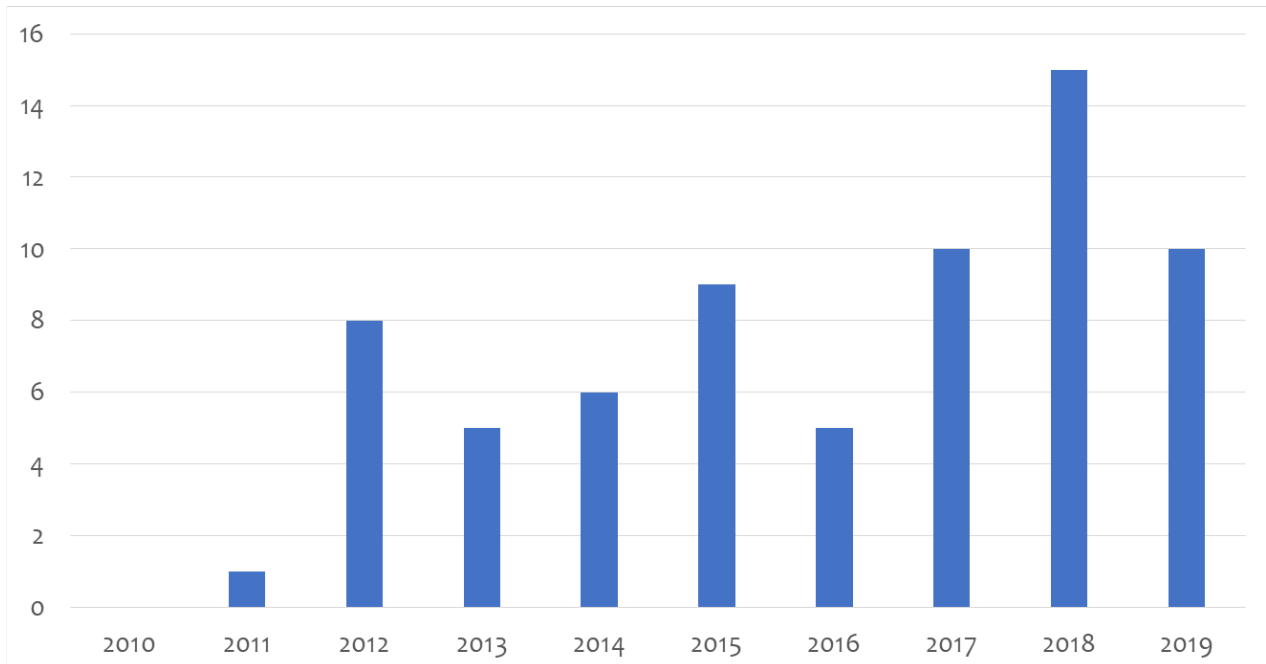


図 4

岡山大学病院 食道疾患センター

